

# アイアンモール® 工法

## 機械器具損料表

2017年(平成29年)年4月

**KOMATSU**

# 目 次

1. TP125S機械損料・器具損料	1
1-1. 推進用機械損料	2
1-2. 器具損料	3
岩盤の器具損料	5
2. TP95S機械損料・器具損料	6
2-1. 推進用機械損料	7
2-2. 器具損料	8
岩盤の器具損料	10
3. TP75SCL機械損料・器具損料	11
3-1. 推進用機械損料	12
3-2. 器具損料	13
岩盤の器具損料	15
4. TP90S機械損料・器具損料	16
4-1. 推進用機械損料	17
4-2. 器具損料	18
岩盤の器具損料	20
5. TP80機械損料・器具損料	21
5-1. 推進用機械損料	22
5-2. 器具損料	23
6. TP60S機械損料・器具損料	24
6-1. 推進用機械損料	25
6-2. 器具損料	26
岩盤の器具損料	27

7. TP40SCL機械損料・器具損料	28
7-1. 推進用機械損料	29
7-2. 器具損料	30
8. TP50S機械損料・器具損料	31
8-1. 推進用機械損料	32
8-2. 器具損料	33
9. 止水器価格表	34
9-1. TP125S坑口止水器価格表	35
9-2. TP95S, TP75SCL, TP90S坑口止水器価格表	35
9-3. TP80坑口止水器価格表	35
9-4. TP60S・TP40SCL・TP50S坑口止水器価格表	35
10. 掘削添加材、滑材、濁水処理装置、グラウトポンプ・ミキサ他価格	36
10-1. 推進用掘削添加材・高性能滑材	37
10-2. 凝集材・土壌改良材	37
10-3. 濁水処理装置	38
10-4. グラウトポンプ・ミキサ他	38

# 1. TP125S機械損料・器具損料

※基礎価格は参考価格です。  
(通常地域用)

1-1. 推進用機械損料  
岩盤推進機械損料  
推進用機械損料(1-1)

名称	諸元	A 基礎 価格 (千円)	B 耐用 年数 (年)	年間標準			F 維持 修理 費率 (%)	G 年間 管理 費率 (%)	運転1時間当り		供用1日当り		供用1日当り 換算値		備考
				C 運転 時間 (Hr)	D 運転 日数 (日)	E 供用 日数 (日)			H 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	I 損料 (円/Hr)	J 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	K 損料 (円/日)	L 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	M 損料 (円/日)	
推進装置 油圧 ユニット コント ロール ユニット ベース 先導体 治工具 ユニット 間ホース &ケーブル 他	4707kN														
	60kW (エンジン式) 2連														
	レーザ 測量用 画面表示														
	φ800 φ900 φ1000用														
各径	φ800計 シールド& ケース含む	94,820	8	540	80	120	70	10					2500	237,050	
	φ900計 シールド& ケース含む	98020	8	540	80	120	70	10					2500	245,050	
	φ1000計 シールド& ケース含む	99,820	8	540	80	120	70	10					2500	249,550	

$$M = A \times L \quad L = \left[ \frac{0.9 + F}{B} + G \right] \div \frac{1}{E}$$

推進用機械損料(1-2)

名称	諸元	A 基礎 価格 (千円)	B 耐用 年数 (年)	年間標準			F 維持 修理 費率 (%)	G 年間 管理 費率 (%)	運転1時間当り		供用1日当り		供用1日当り 換算値		備考
				C 運転 時間 (Hr)	D 運転 日数 (日)	E 供用 日数 (日)			H 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	I 損料 (円/Hr)	J 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	K 損料 (円/日)	L 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	M 損料 (円/日)	
延長ホース& ケーブル類	100m分	18,468	8	540	80	120	70	10					2500	46,170	

※延長距離が100mから200mの場合は、2倍の損料を計上して下さい。

$$M = A \times L \quad L = \left[ \frac{0.9 + F}{B} + G \right] \div \frac{1}{E}$$

## 1-2. 器具損料

※基礎価格は参考価格です。

### (1) 普通土、硬質土、滞水層の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C/B (\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
標準ケーシング 標準スクリュ	φ 800	570	1,800	1.15	575	328	普通土・硬質土に 適用 〔円/m・本〕
	φ 900	589	1,800	1.15	575	339	
	φ 1000	597	1,800	1.15	575	343	
	φ 800	570	1,400	1.15	739	421	滞水砂層に適用 〔円/m・本〕
	φ 900	589	1,400	1.15	739	435	
	φ 1000	597	1,400	1.15	739	441	
ピンチ弁	φ 800	353	300	1.15	3,450	1,218	普通土・硬質土 滞水砂層に適用
	φ 900	353	300	1.15	3,450	1,218	
	φ 1000	353	300	1.15	3,450	1,218	
カタヘッド (ビット型)	φ 800	4,000	450	1.15	2,300	9,200	普通土に適用
	φ 900	4,600	450	1.15	2,300	10,580	
	φ 1000	5,700	450	1.15	2,300	13,110	
	φ 800	4,000	330	1.15	3,136	12,544	硬質土・滞水砂層 に適用
	φ 900	4,600	330	1.15	3,136	14,426	
	φ 1000	5,700	330	1.15	3,136	17,875	

【備考】 スパン距離によって使用本数が変わる器具損料の推進 1 m 当り損料は、耐用距離から算出される器具 1 本の 1 m 当り損料単価×使用本数で表されます。

## (2) 低水位および高水位の礫・玉石混り土の器具損料

※基礎価格は参考価格です。

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times$ $C/B(\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考	
標準ケーシング 標準スクリュ	φ 800	570	1,400	1.15	739	421	礫・玉石混り土 [A][B]に適用 〔円/m・本〕	
	φ 900	589	1,400	1.15	739	435		
	φ 1000	597	1,400	1.15	739	441		
	ピンチ 弁	φ 800	353	250	1.15	4,140	1,461	礫・玉石混り土 [A][B] に適用
		φ 900	353	250	1.15	4,140	1,461	
		φ 1000	353	250	1.15	4,140	1,461	
カッタヘッド (ディスクカッタ型)	φ 800	353	180	1.15	5,750	2,030	礫・玉石混り土 [C][D] に適用	
	φ 900	353	180	1.15	5,750	2,030		
	φ 1000	353	180	1.15	5,750	2,030		
	カッタヘッド (ディスクカッタ型)	φ 800	8,000	180	1.15	5,750	46,000	礫・玉石混り土 [A][B] に適用
		φ 900	10,000	180	1.15	5,750	57,500	
		φ 1000	12,000	180	1.15	5,750	69,000	
カッタヘッド (ディスクカッタ型)	φ 800	8,000	160	1.15	6,469	51,752	礫・玉石混り土 [C][D] に適用	
	φ 900	10,000	160	1.15	6,469	64,690		
	φ 1000	12,000	160	1.15	6,469	77,628		

【備考】 スパン距離によって使用本数が変わる器具損料の推進 1 m 当り損料は、耐用距離から算出される器具 1 本の 1 m 当り損料単価×使用本数で表されます。

※基礎価格は参考価格です。

(3) 岩盤の器具損料

名 称	諸 元	A		B	C	D	E	備 考
		基礎価格 (千円)	耐用距離 (m)					
標準ケーシング 標準スクリュ	φ 800	570	1,400	1.15	739	421	〔円/m・本〕	
	φ 900	589	1,400	1.15	739	435		
	φ 1000	597	1,400	1.15	739	441		
ピンチ弁	φ 800	353	250	1.15	4,140	1,461	風化岩 に適用	
	φ 900	353	250	1.15	4,140	1,461		
	φ 1000	353	250	1.15	4,140	1,461		

(4) カッタヘッド面板の器具損料

名 称	諸 元	A		B	C	D	E	備 考
		基礎価格 (千円)	耐用距離 (m)					
カッタヘッド面板	φ 800	3,380	300	1.15	3,450	11,661	堆積岩 火成岩 変成岩	
	φ 900	4,630	300	1.15	3,450	15,974		
	φ 1000	5,530	300	1.15	3,450	19,079		

(5) カッタ部品の器具損料

名 称	諸 元	A		B	C	D	E	備 考
		基礎価格 (千円)						
		a	b					
カッタ部品	φ 800	5,086	5,472	※		耐用距離で全損		
	φ 900	5,865	6,296	※		耐用距離で全損		
	φ 1000	7,114	7,664	※		耐用距離で全損		

- 【備考】 1. 耐用距離は、岩質により変わります。詳しくは、最新版の積算資料をご参照下さい。  
 2. a : (チップ埋込型ディスクタイプカッタ)一軸圧縮強度が  $78.4\text{MN/m}^2$  ( $800\text{kg/cm}^2$ ) 以下に適用  
 3. b : (ハウスタイプあるいはホタンタイプカッタ)一軸圧縮強度が  $78.5\text{MN/m}^2$  ( $801\text{kg/cm}^2$ ) 以上に適用



## 2. TP95S機械損料・器具損料

※基礎価格は参考価格です。

2-1. 推進用機械損料  
岩盤推進機械損料

(通常地域用)

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用 年数 (年)	年 間 標 準			F 維持 修理 費率 (%)	G 年間 管理 費率 (%)	運転1時間当り		供用1日当り		運転1時間当り 換 算 値		備 考	
				C 運転 時間 (Hr)	D 運転 日数 (日)	E 供用 日数 (日)			H 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	I 損 料 (円/Hr)	J 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	K 損 料 (円/日)	L 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	M 損 料 (円/Hr)		
推 進 機 本 体	推 進 装 置															
	油圧ユニット															
	コントロール ユ ニ ッ ト	レーザ測量用 画面表示														
	ベース先導体															
	治 工 具															
	ユニット間 ホース& ケーブル他															
計	φ350～φ450用	63,185	8	540	80	120	70	10					556	35,131	1日は、 損料(M) × 6.75Hr	
	φ500～φ700用	68,105	8	540	80	120	70	10					556	37,866		

$$M = A \times L \quad L = \left[ \frac{0.9 + F}{B} + G \right] \div C$$

※基礎価格は参考価格です。

## 2-2. 器具損料

### (1) 普通土、硬質土、滞水層の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補 正 率 (-)	D 損 料 率	E 損 料	備 考			
先 導 体	φ 350	1,100	1,000	1.15	1,035	1,139	シールド & ケース			
	φ 400	2,500	1,000	1.15	1,035	2,588				
	φ 450	2,700	1,000	1.15	1,035	2,795				
	φ 500	1,600	1,000	1.15	1,035	1,656				
	φ 600	4,000	1,000	1.15	1,035	4,140				
	φ 700	5,000	1,000	1.15	1,035	5,175				
標準ケーシング 標準スクリュ	φ 350	510	1,800	1.15	575	293	普通土・ 硬質土に 適用 〔円/ｍ・本〕			
	φ 400	528	1,800	1.15	575	304				
	φ 450	539	1,800	1.15	575	310				
	φ 500	570	1,800	1.15	575	328				
	φ 600	589	1,800	1.15	575	339				
	φ 700	597	1,800	1.15	575	343				
	φ 350	510	1,400	1.15	739	377	滞水砂層に 適用 〔円/ｍ・本〕			
		φ 400	528	1,400	1.15	739		390		
		φ 450	539	1,400	1.15	739		398		
		φ 500	570	1,400	1.15	739		421		
		φ 600	589	1,400	1.15	739		435		
		φ 700	597	1,400	1.15	739		441		
ピンチ弁	φ 350	287	300	1.15	3,450	990	普通土・ 硬質土・ 滞水砂層 に適用			
	φ 400	287	300	1.15	3,450	990				
	φ 450	287	300	1.15	3,450	990				
	φ 500	287	300	1.15	3,450	990				
	φ 600	287	300	1.15	3,450	990				
	φ 700	287	300	1.15	3,450	990				
カッタヘッド (ビット型)	φ 350	2,000	450	1.15	2,300	4,600	普通土に 適用			
	φ 400	2,100	450	1.15	2,300	4,830				
	φ 450	2,260	450	1.15	2,300	5,198				
	φ 500	2,350	450	1.15	2,300	5,405				
	φ 600	2,700	450	1.15	2,300	6,210				
	φ 700	3,000	450	1.15	2,300	6,900				
	φ 350	2,000	330	1.15	3,136	6,272	硬質土・ 滞水砂層 に適用			
		φ 400	2,100	330	1.15	3,136		6,586		
		φ 450	2,260	330	1.15	3,136		7,087		
		φ 500	2,350	330	1.15	3,136		7,370		
		φ 600	2,700	330	1.15	3,136		8,467		
		φ 700	3,000	330	1.15	3,136		9,408		
		油圧ホース×2本	φ350~φ450(2.43m)	163	460	1.00		1,957	319	〔円/ｍ・組〕
			φ500~φ700(2.43m)	168	460	1.00		1,957	329	
電気ケーブル×3本 エアホース×1本	5.5 m	132	460	1.00	1,957	258	〔円/ｍ・組〕			
添加材ホース×1本	φ350~φ450(2.43m)	37	460	1.00	1,957	72	〔円/ｍ・本〕			
	φ500~φ700(2.43m)	49	460	1.00	1,957	96				
滑材ホース×1本	φ350~φ450(5.5m)	19	460	1.00	1,957	37	〔円/ｍ・本〕			
	φ500~φ700(2.43m)	49	460	1.00	1,957	96				

【備考】 スパン距離によって使用本数が変わる器具損料の推進1m当り損料は、耐用距離から算出される器具1本の1m当り損料単価×使用本数で表されます。

※基礎価格は参考価格です。

(2) 礫・玉石混り土の器具損料 (低水位・高水位)

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補 正 率 (-)	D 損 料 率	E 損 料	備 考	
先 導 体	φ 350	1,100	1,000	1.15	1,035	1,139	シールド & ケース	
	φ 400	2,500	1,000	1.15	1,035	2,588		
	φ 450	2,700	1,000	1.15	1,035	2,795		
	φ 500	1,600	1,000	1.15	1,035	1,656		
	φ 600	4,000	1,000	1.15	1,035	4,140		
	φ 700	5,000	1,000	1.15	1,035	5,175		
標 準 ケ ー シ ン グ 標 準 ス ク リ ュ	φ 350	510	1,400	1.15	739	377	礫・玉石混 り土 [A] [B]に適用 〔円/m・本〕	
	φ 400	528	1,400	1.15	739	390		
	φ 450	539	1,400	1.15	739	398		
	φ 500	570	1,400	1.15	739	421		
	φ 600	589	1,400	1.15	739	435		
	φ 700	597	1,400	1.15	739	441		
	ピ ン チ 弁	φ 350	510	1,200	1.15	863	440	礫・玉石混 り土 [C] [D]に 適用 〔円/m・本〕
		φ 400	528	1,200	1.15	863	456	
		φ 450	539	1,200	1.15	863	465	
		φ 500	570	1,200	1.15	863	492	
		φ 600	589	1,200	1.15	863	508	
		φ 700	597	1,200	1.15	863	515	
カ ッ タ ヘ ッ ド (ディスクカッタ型)		φ 350	287	250	1.15	4,140	1,188	礫・玉石混 り土 [A] [B]に適用
		φ 400	287	250	1.15	4,140	1,188	
		φ 450	287	250	1.15	4,140	1,188	
		φ 500	287	250	1.15	4,140	1,188	
		φ 600	287	250	1.15	4,140	1,188	
		φ 700	287	250	1.15	4,140	1,188	
	φ 350	287	180	1.15	5,750	1,650	礫・玉石混 り土 [C] に適用	
		φ 400	287	180	1.15	5,750		1,650
		φ 450	287	180	1.15	5,750		1,650
		φ 500	287	180	1.15	5,750		1,650
		φ 600	287	180	1.15	5,750		1,650
		φ 700	287	180	1.15	5,750		1,650
	φ 350	287	150	1.15	6,900	1,980	礫・玉石混 り土 [D] に適用	
		φ 400	287	150	1.15	6,900		1,980
		φ 450	287	150	1.15	6,900		1,980
		φ 500	287	150	1.15	6,900		1,980
		φ 600	287	150	1.15	6,900		1,980
		φ 700	287	150	1.15	6,900		1,980
	カ ッ タ ヘ ッ ド (ディスクカッタ型)	φ 350	3,040	180	1.15	5,750	17,480	礫・玉石混 り土 [A] [B]に適用
		φ 400	3,500	180	1.15	5,750	20,125	
		φ 450	3,650	180	1.15	5,750	20,988	
		φ 500	5,350	180	1.15	5,750	30,763	
		φ 600	6,600	180	1.15	5,750	37,950	
		φ 700	7,200	180	1.15	5,750	41,400	
φ 350		3,040	160	1.15	6,469	19,666	礫・玉石混 り土 [C] に適用	
		φ 400	3,500	160	1.15	6,469		22,642
		φ 450	3,650	160	1.15	6,469		23,612
		φ 500	5,350	160	1.15	6,469		34,609
		φ 600	6,600	160	1.15	6,469		42,695
		φ 700	7,200	160	1.15	6,469		46,577
φ 350		3,040	130	1.15	7,962	24,204	礫・玉石混 り土 [D] に適用	
		φ 400	3,500	130	1.15	7,962		27,867
		φ 450	3,650	130	1.15	7,962		29,061
		φ 500	5,350	130	1.15	7,962		42,597
		φ 600	6,600	130	1.15	7,962		52,549
		φ 700	7,200	130	1.15	7,962		57,326
油 圧 ホ ー ス × 2 本		φ 350~φ 450(2.43m)	163	460	1.00	1,957	319	〔円/m・組〕
		φ 500~φ 700(2.43m)	168	460	1.00	1,957	329	
電 気 ケ ー ブ ル × 3 本 エ ア ー ホ ー ス × 1 本		5.5 m	132	460	1.00	1,957	258	〔円/m・組〕
添 加 材 ホ ー ス × 1 本		φ 350~φ 450(2.43m)	37	460	1.00	1,957	72	〔円/m・本〕
		φ 500~φ 700(2.43m)	49	460	1.00	1,957	96	
滑 材 ホ ー ス × 1 本		φ 350~φ 450(5.5m)	19	460	1.00	1,957	37	〔円/m・本〕
	φ 500~φ 700(2.43m)	49	460	1.00	1,957	96		

【備考】 スパン距離によって使用本数が変わる器具損料の推進1m当り損料は、耐用距離から算出される器具1本の1m当り損料単価×使用本数で表されます。

※基礎価格は参考価格です。

(3) 岩盤の器具損料

名称	諸元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C/B (\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備考
先導体	φ 350	1,100	1,000	1.15	1,035	1,139	シールド & ケース
	φ 400	2,500	1,000	1.15	1,035	2,588	
	φ 450	2,700	1,000	1.15	1,035	2,795	
	φ 500	1,600	1,000	1.15	1,035	1,656	
	φ 600	4,000	1,000	1.15	1,035	4,140	
	φ 700	5,000	1,000	1.15	1,035	5,175	
標準ケーシング 標準スクリュ	φ 350	510	1,400	1.15	739	377	[円/m・本]
	φ 400	528	1,400	1.15	739	390	
	φ 450	539	1,400	1.15	739	398	
	φ 500	570	1,400	1.15	739	421	
	φ 600	589	1,400	1.15	739	435	
	φ 700	597	1,400	1.15	739	441	
ピンチ弁	φ 350	287	250	1.15	4,140	1,188	風化岩 に適用
	φ 400	287	250	1.15	4,140	1,188	
	φ 450	287	250	1.15	4,140	1,188	
	φ 500	287	250	1.15	4,140	1,188	
	φ 600	287	250	1.15	4,140	1,188	
	φ 700	287	250	1.15	4,140	1,188	
油圧ホース×2本	φ 350~450 (2.43m)	163	460	1.00	1,957	319	[円/m・組]
	φ 500~700 (2.43m)	168	460	1.00	1,957	329	
電気ケーブル×3本 エアホース×1本	5.5m	132	460	1.00	1,957	258	[円/m・組]
添加材ホース×1本	φ 350~450 (2.43m)	37	460	1.00	1,957	72	[円/m・本]
	φ 500~700 (2.43m)	49	460	1.00	1,957	96	
滑材ホース×1本	φ 350~450 (5.5m)	19	460	1.00	1,957	37	[円/m・本]
	φ 500~700 (2.43m)	49	460	1.00	1,957	96	

(4) カッタヘッド面板の器具損料

名称	諸元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C/B (\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備考
カッタヘッド 面板	φ 350	1,840	300	1.15	3,450	6,348	堆積岩 火成岩 変成岩
	φ 400	2,070	300	1.15	3,450	7,142	
	φ 450	2,220	300	1.15	3,450	7,659	
	φ 500	3,190	300	1.15	3,450	11,006	
	φ 600	3,350	300	1.15	3,450	11,558	
	φ 700	3,940	300	1.15	3,450	13,593	

(5) カッタ部品の器具損料

名称	諸元	A 基礎価格 (千円)		B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率	E 損料 (円/m)	備考
		a	b					
カッタ部品	φ 350	2,140	2,540	※		耐用距離で全損		
	φ 400	2,196	2,680	※		耐用距離で全損		
	φ 450	2,196	2,680	※		耐用距離で全損		
	φ 500	2,968	3,280	※		耐用距離で全損		
	φ 600	4,996	6,696	※		耐用距離で全損		
	φ 700	5,466	7,664	※		耐用距離で全損		

- 【備考】 1. 耐用距離は、岩質により変わります。詳しくは、最新版の積算資料をご参照下さい。  
 2. a : (チップ埋込型ディスクタイプカッタ)一軸圧縮強度が 78.4MN/m<sup>2</sup> (800 kg/cm<sup>2</sup>) 以下に適用  
 3. b : (ハスタイプあるいはボクタイプカッタ)一軸圧縮強度が 78.5MN/m<sup>2</sup> (801 kg/cm<sup>2</sup>) 以上に適用

### 3. TP75SCL機械損料・器具損料

3

※基礎価格は参考価格です。

3-1. 推進用機械損料  
岩盤推進機械損料

(通常地域用)

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用 年数 (年)	年 間 標 準			F 維持 修理 費率 (%)	G 年間 管理 費率 (%)	運転1時間当り		供用1日当り		運転1時間当り 換 算 値		備 考
				C 運転 時間 (Hr)	D 運転 日数 (日)	E 供用 日数 (日)			H 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	I 損 料 (円/Hr)	J 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	K 損 料 (円/日)	L 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	M 損 料 (円/Hr)	
推 進 機 本 体	推 進 装 置														
	油圧ユニット														
	コントロール ユ ニ ッ ト	レーザ測量用 画面表示													
	ベース先導体														
	治 工 具														
	ユニット間 ホース& ケーブル他														
計	φ350～φ450用	67,120	8	540	80	120	70	10					556	37,319	1日は、 損料(M) × 6.75Hr
	φ500用	72,810	8	540	80	120	70	10					556	40,482	

$$M = A \times L \quad L = \left[ \frac{0.9 + F}{B} + G \right] \div C$$

※基礎価格は参考価格です。

### 3-2. 器具損料

#### (1) 普通土、硬質土、滞水層の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補 正 率 (-)	D 損 料 率 $D=0.9 \times C$ $/B(\times 10^{-6})$	E 損 料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
先 導 体	φ 350	1,430	1,000	1.15	1,035	1,480	シールド & ケース
	φ 400	2,960	1,000	1.15	1,035	3,064	
	φ 450	3,200	1,000	1.15	1,035	3,312	
	φ 500	1,700	1,000	1.15	1,035	1,760	
標 準 ケ ー シ ン グ 標 準 ス ク リ ュ (1.2m管用)	φ 350	390	1,800	1.15	575	224	普通土・ 硬質土に 適用 〔円/m・本〕
	φ 400	390	1,800	1.15	575	224	
	φ 450	390	1,800	1.15	575	224	
	φ 500	407	1,800	1.15	575	234	
	φ 350	390	1,400	1.15	739	288	滞水砂層 に適用 〔円/m・本〕
	φ 400	390	1,400	1.15	739	288	
	φ 450	390	1,400	1.15	739	288	
	φ 500	407	1,400	1.15	739	301	
ピ ン チ 弁	φ 350	287	300	1.15	3,450	990	普通土・ 硬質土・ 滞水砂層 に適用
	φ 400	287	300	1.15	3,450	990	
	φ 450	287	300	1.15	3,450	990	
	φ 500	287	300	1.15	3,450	990	
カ ッ タ ヘ ッ ド (ビット型)	φ 350	2,000	450	1.15	2,300	4,600	普通土に 適用
	φ 400	2,100	450	1.15	2,300	4,830	
	φ 450	2,260	450	1.15	2,300	5,198	
	φ 500	2,350	450	1.15	2,300	5,405	
	φ 350	2,000	330	1.15	3,136	6,272	硬質土・ 滞水砂層 に適用
	φ 400	2,100	330	1.15	3,136	6,586	
	φ 450	2,260	330	1.15	3,136	7,087	
	φ 500	2,350	330	1.15	3,136	7,370	
油 圧 ホ ー ス×2本	φ350~φ450(2.43m)	163	460	1.00	1,957	319	〔円/m・組〕
	φ500(2.43m)	168	460	1.00	1,957	329	
電 気 ケ ー ブ ル×3本 エアーホース×1本	5.5 m	132	460	1.00	1,957	258	〔円/m・組〕
添 加 材 ホ ー ス×1本	φ350~φ450(2.43m)	37	460	1.00	1,957	72	〔円/m・本〕
	φ500(2.43m)	49	460	1.00	1,957	96	
滑 材 ホ ー ス×1本	φ350~φ450(5.5m)	19	460	1.00	1,957	37	〔円/m・本〕
	φ500(2.43m)	49	460	1.00	1,957	96	

【備考】 スパン距離によって使用本数が変わる器具損料の推進1m当り損料は、耐用距離から算出される器具1本の1m当り損料単価×使用本数で表されます。



※基礎価格は参考価格です。

(2) 礫・玉石混り土の器具損料（低水位・高水位）

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補 正 率 (-)	D 損 料 率 $D=0.9 \times C$ $/B(\times 10^{-6})$	E 損 料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考	
先 導 体	φ 350	1,430	1,000	1.15	1,035	1,480	シールド & ケース	
	φ 400	2,960	1,000	1.15	1,035	3,064		
	φ 450	3,200	1,000	1.15	1,035	3,312		
	φ 500	1,700	1,000	1.15	1,035	1,760		
標 準 ケ ー シ ン グ 標 準 ス ク リ ュ (1.2m管用)	φ 350	390	1,400	1.15	739	288	礫・玉石混 り土 [A] [B]に適用 [円/m・本]	
	φ 400	390	1,400	1.15	739	288		
	φ 450	390	1,400	1.15	739	288		
	φ 500	407	1,400	1.15	739	301		
	φ 350	390	1,200	1.15	863	337	礫・玉石混 り土 [C] [D]に 適用 [円/m・本]	
	φ 400	390	1,200	1.15	863	337		
	φ 450	390	1,200	1.15	863	337		
	φ 500	407	1,200	1.15	863	351		
ピ ン チ 弁	φ 350	287	250	1.15	4,140	1,188	礫・玉石混 り土 [A] [B]に適用	
	φ 400	287	250	1.15	4,140	1,188		
	φ 450	287	250	1.15	4,140	1,188		
	φ 500	287	250	1.15	4,140	1,188		
	φ 350	287	180	1.15	5,750	1,650	礫・玉石混 り土 [C] 適用	
	φ 400	287	180	1.15	5,750	1,650		
	φ 450	287	180	1.15	5,750	1,650		
	φ 500	287	180	1.15	5,750	1,650		
	φ 350	287	150	1.15	6,900	1,980	礫・玉石混 り土 [D] に適用	
	φ 400	287	150	1.15	6,900	1,980		
	φ 450	287	150	1.15	6,900	1,980		
	φ 500	287	150	1.15	6,900	1,980		
カ ッ タ ヘ ッ ド (ディスクカッタ型)	φ 350	3,040	180	1.15	5,750	17,480	礫・玉石混 り土 [A] [B]に適用	
	φ 400	3,500	180	1.15	5,750	20,125		
	φ 450	3,650	180	1.15	5,750	20,988		
	φ 500	5,350	180	1.15	5,750	30,763		
	φ 350	3,040	160	1.15	6,469	19,666	礫・玉石混 り土 [C] に適用	
	φ 400	3,500	160	1.15	6,469	22,642		
	φ 450	3,650	160	1.15	6,469	23,612		
	φ 500	5,350	160	1.15	6,469	34,609		
	φ 350	3,040	130	1.15	7,962	24,204	礫・玉石混 り土 [D] に適用	
	φ 400	3,500	130	1.15	7,962	27,867		
	φ 450	3,650	130	1.15	7,962	29,061		
	φ 500	5,350	130	1.15	7,962	42,597		
	油 圧 ホ ー ス×2 本	φ 350~φ 450(2.43m)	163	460	1.00	1,957	319	[円/m・組]
		φ 500(2.43m)	168	460	1.00	1,957	329	
	電 気 ケ ー ブ ル×3 本 エ ア ー ホ ー ス×1 本	5.5 m	132	460	1.00	1,957	258	[円/m・組]
	添 加 材 ホ ー ス×1 本	φ 350~φ 450(2.43m)	37	460	1.00	1,957	72	[円/m・本]
φ 500(2.43m)		49	460	1.00	1,957	96		
滑 材 ホ ー ス×1 本	φ 350~φ 450(5.5m)	19	460	1.00	1,957	37	[円/m・本]	
	φ 500(2.43m)	49	460	1.00	1,957	96		

【備考】 スパン距離によって使用本数が変わる器具損料の推進1m当り損料は、耐用距離から算出される器具1本の1m当り損料単価×使用本数で表されます。

※基礎価格は参考価格です。

(3) 岩盤の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C/B(\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
先 導 体	φ 350	1,430	1,000	1.15	1,035	1,480	シールド &ケース
	φ 400	2,960	1,000	1.15	1,035	3,064	
	φ 450	3,200	1,000	1.15	1,035	3,312	
	φ 500	1,700	1,000	1.15	1,035	1,760	
標準ケーシング、 標準スクリュ (1.2m管用)	φ 350	390	1,400	1.15	739	288	[円/m・本]
	φ 400	390	1,400	1.15	739	288	
	φ 450	390	1,400	1.15	739	288	
	φ 500	407	1,400	1.15	739	301	
ピ ン チ 弁	φ 350	287	250	1.15	4,140	1,188	風化岩 に適用
	φ 400	287	250	1.15	4,140	1,188	
	φ 450	287	250	1.15	4,140	1,188	
	φ 500	287	250	1.15	4,140	1,188	
油圧ホース×2本	φ 350~450(2.43m)	163	460	1.00	1,957	319	[円/m・組]
	φ 500(2.43m)	168	460	1.00	1,957	329	
電気ケーブル×3本 エアホース×1本	5.5m	132	460	1.00	1,957	258	[円/m・組]
添加材ホース×1本	φ 350~450(2.43m)	37	460	1.00	1,957	72	[円/m・本]
	φ 500(2.43m)	49	460	1.00	1,957	96	
滑材ホース×1本	φ 350~450(5.5m)	19	460	1.00	1,957	37	[円/m・本]
	φ 500(2.43m)	49	460	1.00	1,957	96	

(4) カッタヘッド面板の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C/B(\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
カッタヘッド面板	φ 350	1,840	300	1.15	3,450	6,348	堆積岩 火成岩 変成岩
	φ 400	2,070	300	1.15	3,450	7,142	
	φ 450	2,220	300	1.15	3,450	7,659	
	φ 500	3,190	300	1.15	3,450	11,006	

(5) カッタ部品の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)		B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率	E 損料 (円/m)	備 考
		a	b					
カッタ部品	φ 350	2,140	2,540	※		耐用距離で全損		
	φ 400	2,196	2,680	※		耐用距離で全損		
	φ 450	2,196	2,680	※		耐用距離で全損		
	φ 500	2,968	3,280	※		耐用距離で全損		

- 【備考】 1. 耐用距離は、岩質により変わります。詳しくは、最新版の積算資料をご参照下さい。  
 2. a : (チップ埋込型ディスクタイプカッタ)一軸圧縮強度が 78.4MN/m<sup>2</sup> (800 kg/cm<sup>2</sup>) 以下に適用  
 3. b : (ハウスタイプあるいはホタタイプカッタ)一軸圧縮強度が 78.5MN/m<sup>2</sup> (801 kg/cm<sup>2</sup>) 以上に適用

## 4. TP90S機械損料・器具損料

4

※基礎価格は参考価格です。

4-1. 推進用機械損料  
岩盤推進機械損料

(通常地域用)

名称	諸元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用 年数 (年)	年間標準			F 維持 修理 費率 (%)	G 年間 管理 費率 (%)	運転1時間当り		供用1日当り		運転1時間当り 換算値		備考	
				C 運転 時間 (hr)	D 運転 日数 (日)	E 供用 日数 (日)			H 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	I 損料 (円/hr)	J 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	K 損料 (円/日)	L 損料率 ×10 <sup>-6</sup>	M 損料 (円/hr)		
推進 機 本 体	推進装置															
	油圧ユニット															
	コントロール ユニット	レーザ測量用 画面表示														
	ベース先導体															
	治工具 トランシット台															
	ユニット間 ホース& ケーブル他															
計	φ250～φ300用	40,210	8	540	80	120	70	10					556	22,357	1日は、 損料(M) × 6.75hr	
	φ350～φ450用	44,350	8	540	80	120	70	10					556	24,659		
	φ500～φ700用	48,070	8	540	80	120	70	10					556	26,727		

$$M = A \times L \quad L = \left[ \frac{0.9 + F}{B} + G \right] \div C$$

## 4-2. 器具損料

※基礎価格は参考価格です。

### (1) 普通土、硬質土、滞水層の器具損料

名称	諸元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C$ $/B(\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備考
先導体	φ250	540	950	1.15	1,089	588	シールド & ケース
	φ300	2,040	950	1.15	1,089	2,222	
	φ350	900	950	1.15	1,089	980	
	φ400	2,100	950	1.15	1,089	2,287	
	φ450	2,400	950	1.15	1,089	2,614	
	φ500	1,770	950	1.15	1,089	1,928	
	φ600	3,170	950	1.15	1,089	3,452	
φ700	4,080	950	1.15	1,089	4,443		
標準ケーシング 標準スクリュ	φ250	334	1,320	1.15	784	262	普通土・ 硬質土に 適用  〔円/m・本〕
	φ300	348	1,320	1.15	784	273	
	φ350	510	1,320	1.15	784	400	
	φ400	528	1,320	1.15	784	414	
	φ450	539	1,320	1.15	784	423	
	φ500	570	1,320	1.15	784	447	
	φ600	589	1,320	1.15	784	462	
φ700	597	1,320	1.15	784	468		
	φ250	334	990	1.15	1,045	349	滞水砂層 に適用  〔円/m・本〕
	φ300	348	990	1.15	1,045	364	
	φ350	510	990	1.15	1,045	533	
	φ400	528	990	1.15	1,045	552	
	φ450	539	990	1.15	1,045	563	
	φ500	570	990	1.15	1,045	596	
	φ600	589	990	1.15	1,045	616	
φ700	597	990	1.15	1,045	624		
ピンチ弁	φ250~300	172	250	1.15	4,140	712	普通土・硬質 土・滞水砂層 に適用
	φ350~450	287	250	1.15	4,140	1,188	
	φ500~700	353	250	1.15	4,140	1,461	
カタヘッド (ビット型)	φ250	740	350	1.15	2,957	2,188	普通土 に適用
	φ300	800	350	1.15	2,957	2,366	
	φ350	920	350	1.15	2,957	2,720	
	φ400	950	350	1.15	2,957	2,809	
	φ450	1,050	350	1.15	2,957	3,105	
	φ500	1,310	350	1.15	2,957	3,874	
	φ600	1,380	350	1.15	2,957	4,081	
φ700	1,410	350	1.15	2,957	4,169		
カタヘッド (オープン型)	φ250	920	350	1.15	2,957	2,720	硬質土 に適用
	φ300	1,200	350	1.15	2,957	3,548	
	φ350	1,290	350	1.15	2,957	3,815	
	φ400	1,530	350	1.15	2,957	4,524	
	φ450	1,650	350	1.15	2,957	4,879	
	φ500	1,800	350	1.15	2,957	5,323	
	φ600	1,980	350	1.15	2,957	5,855	
φ700	2,150	350	1.15	2,957	6,358		
カタヘッド (ビット型)	φ250	740	250	1.15	4,140	3,064	滞水砂層 に適用
	φ300	800	250	1.15	4,140	3,312	
	φ350	920	250	1.15	4,140	3,809	
	φ400	950	250	1.15	4,140	3,933	
	φ450	1,050	250	1.15	4,140	4,347	
	φ500	1,310	250	1.15	4,140	5,423	
	φ600	1,380	250	1.15	4,140	5,713	
φ700	1,410	250	1.15	4,140	5,837		
油圧ホース×2本 電気ケーブル×2本 エアホース×1本	5.5m	168	460	1.00	1,957	329	〔円/m・組〕
滑材ホース×1本	5.5m	28	460	1.00	1,957	55	〔円/m・本〕

【備考】 スパン距離によって使用本数が変わる器具損料の推進1m当り損料は、耐用距離から算出される器具1本の1m当り損料単価×使用本数で表されます。

※基礎価格は参考価格です。

(2) 礫・玉石混り土の器具損料 (低水位・高水位)

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C$ $/B(\times 10^{-6})$	E 損 料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
先 導 体	φ 250	540	950	1.15	1,089	588	シールド & ケース
	φ 300	2,040	950	1.15	1,089	2,222	
	φ 350	900	950	1.15	1,089	980	
	φ 400	2,100	950	1.15	1,089	2,287	
	φ 450	2,400	950	1.15	1,089	2,614	
	φ 500	1,770	950	1.15	1,089	1,928	
	φ 600	3,170	950	1.15	1,089	3,452	
	φ 700	4,080	950	1.15	1,089	4,443	
標 準 ケ ー シ ン グ 標 準 ス ク リ ュ	φ 250	334	900	1.15	1,150	384	礫・玉石 混り土 [A][B] に適用  〔円/m・本〕
	φ 300	348	900	1.15	1,150	400	
	φ 350	510	900	1.15	1,150	587	
	φ 400	528	900	1.15	1,150	607	
	φ 450	539	900	1.15	1,150	620	
	φ 500	570	900	1.15	1,150	656	
	φ 600	589	900	1.15	1,150	677	
	φ 700	597	900	1.15	1,150	687	
	φ 250	334	700	1.15	1,479	494	礫・玉石 混り土 [C][D] に適用  〔円/m・本〕
	φ 300	348	700	1.15	1,479	515	
	φ 350	510	700	1.15	1,479	754	
	φ 400	528	700	1.15	1,479	781	
	φ 450	539	700	1.15	1,479	797	
	φ 500	570	700	1.15	1,479	843	
	φ 600	589	700	1.15	1,479	871	
	φ 700	597	700	1.15	1,479	883	
ピ ン チ 弁	φ 250~300	172	120	1.15	8,625	1,484	礫・玉石混 り土[A] [B]に適用
	φ 350~450	287	120	1.15	8,625	2,475	
	φ 500~700	353	120	1.15	8,625	3,045	
	φ 250~300	172	100	1.15	10,350	1,780	礫・玉石混 り土[C] [D]に適用
	φ 350~450	287	100	1.15	10,350	2,970	
	φ 500~700	353	100	1.15	10,350	3,654	
カ ッ タ ヘ ッ ド (ディスクカッタ型)	φ 250	1,580	160	1.15	6,469	10,221	礫・玉石 混り土 [A][B] に適用
	φ 300	2,430	160	1.15	6,469	15,720	
	φ 350	2,640	160	1.15	6,469	17,078	
	φ 400	2,840	160	1.15	6,469	18,372	
	φ 450	2,930	160	1.15	6,469	18,954	
	φ 500	3,000	160	1.15	6,469	19,407	
	φ 600	3,450	160	1.15	6,469	22,318	
	φ 700	3,750	160	1.15	6,469	24,259	
	φ 250	1,580	130	1.15	7,962	12,580	礫・玉石 混り土 [C][D] に適用
	φ 300	2,430	130	1.15	7,962	19,348	
	φ 350	2,640	130	1.15	7,962	21,020	
	φ 400	2,840	130	1.15	7,962	22,612	
	φ 450	2,930	130	1.15	7,962	23,329	
	φ 500	3,000	130	1.15	7,962	23,886	
	φ 600	3,450	130	1.15	7,962	27,469	
	φ 700	3,750	130	1.15	7,962	29,858	
油 圧 ホ ー ス×2 本 電 気 ケ ー ブ ル×2 本 エ ア ー ホ ー ス×1 本	5.5m	168	460	1.00	1,957	329	〔円/m・組〕
滑 材 ホ ー ス×1 本	5.5m	28	460	1.00	1,957	55	〔円/m・本〕

【備考】 スパン距離によって使用本数が変わる器具損料の推進 1m 当り損料は、耐用距離から算出される器具 1 本の 1m 当り損料単価 × 使用本数で表されます。

※基礎価格は参考価格です。

(3) 岩盤の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times$ $C/B(\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
先 導 体	φ 250	540	950	1.15	1,089	588	シールド & ケース
	φ 300	2,040	950	1.15	1,089	2,222	
	φ 350	900	950	1.15	1,089	980	
	φ 400	2,100	950	1.15	1,089	2,287	
	φ 450	2,400	950	1.15	1,089	2,614	
	φ 500	1,770	950	1.15	1,089	1,928	
	φ 600	3,170	950	1.15	1,089	3,452	
標準ケーシング 標準スクリュー	φ 250	334	900	1.15	1,150	384	〔円/m・本〕
	φ 300	348	900	1.15	1,150	400	
	φ 350	510	900	1.15	1,150	587	
	φ 400	528	900	1.15	1,150	607	
	φ 450	539	900	1.15	1,150	620	
	φ 500	570	900	1.15	1,150	656	
	φ 600	589	900	1.15	1,150	677	
ピンチ弁	φ 250~300	172	120	1.15	8,625	1,484	風化岩 に適用
	φ 350~450	287	120	1.15	8,625	2,475	
	φ 500~700	353	120	1.15	8,625	3,045	
油圧ホース×2本 電気ケーブル×2本 エアホース×1本	5.5m	168	460	1.00	1,957	329	〔円/m・組〕
滑材ホース×1本	5.5m	28	460	1.00	1,957	55	〔円/m・本〕

(4) カッタヘッド面板の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times$ $C/B(\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
カッタヘッド面板	φ 250	1,328	300	1.15	3,450	4,582	堆積岩 火成岩 変成岩
	φ 300	1,535	300	1.15	3,450	5,296	
	φ 350	3,236	300	1.15	3,450	11,164	
	φ 400	3,492	300	1.15	3,450	12,047	
	φ 450	4,259	300	1.15	3,450	14,694	
	φ 500	4,907	300	1.15	3,450	16,929	
	φ 600	5,407	300	1.15	3,450	18,654	
φ 700	6,397	300	1.15	3,450	22,070		

(5) カッタ部品の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)		B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率	E 損料 (円/m)	備 考
		a	b					
カッタ部品	φ 250	1,200	—	※		耐用距離で全損		
	φ 300	1,800	—	※		耐用距離で全損		
	φ 350	2,140	2,590	※		耐用距離で全損		
	φ 400	2,140	2,590	※		耐用距離で全損		
	φ 450	2,610	2,540	※		耐用距離で全損		
	φ 500	3,340	3,860	※		耐用距離で全損		
	φ 600	4,750	4,470	※		耐用距離で全損		
φ 700	5,820	5,740	※		耐用距離で全損			

- 【備考】 1. 耐用距離は、岩質により変わります。詳しくは、最新版の積算資料をご参照下さい。  
 2. a : (チップ埋込型デイスタイプカッタ)一軸圧縮強度が 78.4MN/m<sup>2</sup> (800 kg/cm<sup>2</sup>) 以下に適用  
 3. b : (ハウスタイプあるいはボタンタイプカッタ)一軸圧縮強度が 78.5MN/m<sup>2</sup> (801 kg/cm<sup>2</sup>) 以上に適用

## 5. TP80機械損料・器具損料



※基礎価格は参考価格です。

5-1. 機械損料（標準型（TP80）、分割型（TP80<sub>2</sub>）とも同一）

名称	規格		A 基礎価格 (円)	B 耐用 年数 (年)	年間標準			F 維持 修理 費率 (%)	G 年間 管理 費率 (%)	運転1時間当り		供用1日当り		運転1時間 当り換算値		
	諸 元	機 関 出 力 (kw)			機 械 重 量 (t)	C 運 転 時 間 (時間)	D 運 転 日 数 (日)			E 供 用 日 数 (日)	H 損 料 率 ( $\times 10^{-6}$ )	I 損 料 (円)	J 損 料 率 ( $\times 10^{-6}$ )	K 損 料 (円)	L 損 料 率 ( $\times 10^{-6}$ )	M 損 料 (円)
7アール機本体	システムI	33~35	4.0~4.5	8	400	80	120	70	10	-	-	750	13,642			
圧密式ドリフトヘッド	φ216mm	0.35	7,043,000	8	200	40	120	70	10	-	-	1,500	10,565			
掘削ヘッド	φ360mm	0.73	6,526,000	8	200	40	120	70	10	-	-	1,500	9,789			
ハイトドリフトヘッド	φ654mm	1.97	9,692,000	8	200	40	120	70	10	-	-	1,500	14,538			
反力板	795×625mm, 2枚~ 1500×800mm, 2枚	0.25~ 0.43	316,000	6	-	-	100	-	8	2,300	727	-	-			
スクレーパー用 ピッチ弁	滞水層キュート管推進 用		1,077,000	8	200	40	120	70	10	-	-	1,500	1,616			
レーザ検出装置	レーザターゲット及び モーター		3,980,000	8	200	40	120	70	10	-	-	1,500	5,970			
レーザドリフト			1,200,000	5	-	-	120	50	7	2,917	3,500	-	-			

【備考】1日当りの損料は、運転1時間当り換算値(M)×5時間となります。

※基礎価格は参考価格です。

## 5-2. 器具損料

(標準型)

名 称	諸 元	A 基礎価格 (円)	B 耐用距離 (m)	C 補 正 率	D 損 料 率 $D=0.9 \times C/B(\times 10^{-6})$	E = A × D 損料(円/m)	
						パイロット 管推進	ヒューム 管推進
掘削カッタアダプタ (スクリュ排土式)	φ250mm	400,000	1,090	1.15	950	—	380
	φ300mm	901,000	1,090	1.15	950	—	856
	φ350mm	967,000	1,090	1.15	950	—	919
	φ400mm	1,053,000	1,090	1.15	950	—	1,000
	φ450mm	1,101,000	1,090	1.15	950	—	1,046
	φ500mm	1,168,000	1,090	1.15	950	—	1,110
	φ600mm	2,250,000	1,090	1.15	950	—	2,138
	φ700mm	2,700,000	1,090	1.15	950	—	2,565
ヘッドアダプタ	L=100mm	46,000	1,160	1.15	892	41	—
ヘッドアダプタ	L=200mm	60,000	1,160	1.15	892	54	—
ヘッドアダプタ	L=300mm	72,000	1,160	1.15	892	64	—
パイロット管	φ216mm, L=2m	133,240	1,040	1.15	995	67	67
スクリュコンベア	φ173mm, L=2m	75,000	650	1.15	1,592	—	119
油圧ホース	500kg/cm <sup>2</sup> , 4m	76,300	400	1.00	2,250	86	86
油圧ホース	250kg/cm <sup>2</sup> , 4m	63,900	400	1.00	2,250	72	72
電気ケーブル	16 芯, L=8m	68,400	400	1.00	2,250	77	77
水ホース	φ9.5mm, L=4m	18,500	400	1.00	2,250	21	21
グラウトホース		15,000	400	1.00	2,250	—	34

(分割型)

名 称	諸 元	A 基礎価格	B 耐用距離	C 補 正 率	D 損 料 率 $D=0.9 \times C/B(\times 10^{-6})$	E = A × D 損料(円/m)	
						パイロット 管推進	ヒューム 管推進
掘削カッタアダプタ (スクリュ排土式)	φ250mm	409,000	1,090	1.15	950	—	389
	φ300mm	1,134,000	1,090	1.15	950	—	1,077
	φ350mm	1,194,000	1,090	1.15	950	—	1,134
	φ400mm	1,290,000	1,090	1.15	950	—	1,226
	φ450mm	1,361,000	1,090	1.15	950	—	1,293
	φ500mm	1,490,000	1,090	1.15	950	—	1,416
	φ600mm	2,600,000	1,090	1.15	950	—	2,470
	φ700mm	2,985,000	1,090	1.15	950	—	2,836
ヘッドアダプタ	L=100mm	46,000	1,160	1.15	892	41	—
ヘッドアダプタ	L=200mm	60,000	1,160	1.15	892	54	—
ヘッドアダプタ	L=300mm	72,000	1,160	1.15	892	64	—
パイロット管	φ216mm, L=0.7m	74,000	1,040	1.15	995	37	37
スクリュコンベア	φ173mm, L=0.7m	37,000	650	1.15	1,592	—	59
油圧ホース	500kg/cm <sup>2</sup> , 4m	76,300	400	1.00	2,250	86	86
油圧ホース	250kg/cm <sup>2</sup> , 4m	63,900	400	1.00	2,250	72	72
電気ケーブル	16 芯, L=8m	68,400	400	1.00	2,250	77	77
水ホース	φ9.5mm, L=4m	18,500	400	1.00	2,250	21	21
グラウトホース		15,000	400	1.00	2,250	—	34

【備考】 スパンの距離によって使用本数が変わる器具損料の推進1m当り損料は、耐用距離から算出される器具1本の1m当たり損料単価×使用本数で表されます。

## 6. TP60S機械損料・器具損料

※基礎価格は参考価格です。

6-1. 推進用機械損料  
岩盤推進機械損料

(通常地域用)

名 称	諸 元	A 基礎 価格 (千円)	B 耐用 年数 (年)	年 間 標 準			F 維持 修理 費率 (%)	G 年間 管理 費率 (%)	運 転 1 時 間 当 り		供 用 1 日 当 り		運 転 1 時 間 当 り 換 算 値		備 考					
				C	D	E			H	I	J	K	L	M						
				運 転 時 間 (Hr)	運 転 日 数 (日)	供 用 日 数 (日)			損 料 率  ×10 <sup>-6</sup>	損 料 (円/Hr)	損 料 率  ×10 <sup>-6</sup>	損 料 (円/日)	損 料 率  ×10 <sup>-6</sup>	損 料 (円/Hr)						
推 進 機 本 体	推進装置	推力784kN、 9,800Nm																		
	油圧ユニット	24kW (エンジン式)																		
	コントロール ユニット	レバ測量用 画面表示																		
	ベース 先導体	φ250 ~ φ400 用																		
	治工具																			
	ユニット間 ホース& ケーブル他																			
計	塩ビ管半管用	33,270	6	540	80	120	60	10					648	21,559	1日は、 損料(M) × 6.75Hr					
	塩ビ管標準管用	35,270												22,855						
	ビニル管半管用	32,500	8	540	80	120	70	10											556	18,070
	ビニル管標準管用	34,500																		19,182

$$M = A \times L \quad L = \left[ \frac{0.9 + F}{B} + G \right] \div C$$

※基礎価格は参考価格です。

## 6-2. 器具損料

(通常地域用)

(1) 普通土、硬質土、滞水層、礫、玉石混り土の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C$ $/B(\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
先 導 体	φ 300 塩ビ管	1,020	1,000	1.15	1,035	1,056	シールド & ケース
	φ 350 塩ビ管	2,350	1,000	1.15	1,035	2,432	
	φ 400 塩ビ管	2,800	1,000	1.15	1,035	2,898	
	φ 250 ヒューム管	2,050	1,000	1.15	1,035	2,122	
	φ 300 ヒューム管	2,480	1,000	1.15	1,035	2,567	
2 m 管用標準 ケーシング & スクリュー	φ 300~400 (塩ビ管)	504	1,400	1.15	739	372	普通土・硬質土に適用 (円/m・本)
		504	1,000	1.15	1,035	522	滞水砂層に適用 (円/m・本)
	φ 250~300 (ヒューム管)	504	900	1.15	1,150	580	礫、玉石 [A] [B] に適用 (円/m・本)
		504	700	1.15	1,479	745	礫、玉石 [C] [D] に適用 (円/m・本)
1 m 管用標準 ケーシング & スクリュー	φ 300~400 (塩ビ管)	252	1,400	1.15	739	186	普通土・硬質土に適用 (円/m・本)
		252	1,000	1.15	1,035	261	滞水砂層に適用 (円/m・本)
	φ 250~300 (ヒューム管)	252	900	1.15	1,150	290	礫、玉石 [A] [B] に適用 (円/m・本)
		252	700	1.15	1,479	373	礫、玉石 [C] [D] に適用 (円/m・本)
ピンチ弁	φ 300~400 (塩ビ管)	172	250	1.15	4,140	712	普通土・硬質土・滞水砂層 に適用
		172	120	1.15	8,625	1,484	礫、玉石 [A] [B] に適用
	φ 250~300 (ヒューム管)	172	100	1.15	10,350	1,780	礫、玉石 [C] [D] に適用
カッターヘッド (普通土、硬質土)	φ 300 塩ビ管	800	350	1.15	2,957	2,366	普通土、硬質土 に適用
	φ 350 塩ビ管	1,000	350	1.15	2,957	2,957	
	φ 400 塩ビ管	1,200	350	1.15	2,957	3,548	
	φ 250 ヒューム管	1,000	350	1.15	2,957	2,957	
	φ 300 ヒューム管	1,200	350	1.15	2,957	3,548	
カッターヘッド (滞水層)	φ 300 塩ビ管	800	250	1.15	4,140	3,312	滞水砂層に適用
	φ 350 塩ビ管	1,000	250	1.15	4,140	4,140	
	φ 400 塩ビ管	1,200	250	1.15	4,140	4,968	
	φ 250 ヒューム管	1,000	250	1.15	4,140	4,140	
	φ 300 ヒューム管	1,200	250	1.15	4,140	4,968	
カッターヘッド (ディスクカッタ型)	φ 300 塩ビ管	1,700	160	1.15	6,469	10,997	礫、玉石 [A] に適用
	φ 350 塩ビ管	2,450	160	1.15	6,469	15,849	
	φ 400 塩ビ管	3,200	160	1.15	6,469	20,701	
	φ 250 ヒューム管	2,450	160	1.15	6,469	15,849	
	φ 300 ヒューム管	3,200	160	1.15	6,469	20,701	
	φ 300 塩ビ管	1,700	130	1.15	7,962	13,535	礫、玉石 [B] [C] に適用
	φ 350 塩ビ管	2,450	130	1.15	7,962	19,507	
	φ 400 塩ビ管	3,200	130	1.15	7,962	25,478	
	φ 250 ヒューム管	2,450	130	1.15	7,962	19,507	
	φ 300 ヒューム管	3,200	130	1.15	7,962	25,478	
	φ 250 ヒューム管	2,450	100	1.15	10,350	25,358	礫、玉石 [D] に適用
φ 300 ヒューム管	3,200	100	1.15	10,350	33,120		
油圧ホース×2 本 電気ケーブル×1 本 エアホース×1 本	4m	109	460	1.00	1,957	213	[円/m・組]
滑材ホース×1 本	4m	22	460	1.00	1,957	43	[円/m・本]

【備考】 1. 2 m 管推進時は、2 m 管用のスクュ・ケーシングの損料を計上します。  
2. 1 m 管推進時は、1 m 管用のスクュ・ケーシングの損料を計上します。

※基礎価格は参考価格です。

(通常地域用)

(2)岩盤の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C / B (\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
先 導 体	φ 250 ヒューム管	2,050	1,000	1.15	1,035	2,122	シールド&ケース
	φ 300 ヒューム管	2,480	1,000	1.15	1,035	2,567	
2 m 管用標準 ケーシング&スクリュ	φ 250~300 (ヒューム管)	504	900	1.15	1,150	580	[円/m・本]
1 m 管用標準 ケーシング&スクリュ	φ 250~300 (ヒューム管)	252	900	1.15	1,150	290	[円/m・本]
ピンチ弁	φ 250~300 (ヒューム管)	172	120	1.15	8,625	1,484	
油圧ホース×2本 電気ケーブル×1本 エアーホース×1本	4m	109	460	1.00	1,957	213	[円/m・組]
滑材ホース×1本	4m	22	460	1.00	1,957	43	[円/m・本]

【備考】 1. 2m管推進時は、2m管用のスクュ・ケーシングの損料を計上します。  
2. 1m管推進時は、1m管用のスクュ・ケーシングの損料を計上します。

(3)カッタヘッド面板・カッタ部品の器具損料

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率	E 損料 (円/m)	備 考
カッタヘッド面板	φ 250	1,370	300	1.15	3,450	4,727	堆積岩、火成岩 変成岩
	φ 300	1,760	300	1.15	3,450	6,072	
カッタ部品	φ 250	1,350	※		耐用距離で全損		
	φ 300	1,950	※		耐用距離で全損		

【備考】 1. 耐用距離は、岩質により変わります。詳しくは、最新版の積算資料をご参照下さい。

## 7. TP40SCL機械損料・器具損料

※基礎価格は参考価格です。

7-1. 推進用機械損料

(通常地域用)

名 称	諸 元	A 基礎 価格 (千円)	B 耐用 年数 (年)	年 間 標 準			F 維持 修理 費率 (%)	G 年間 管理 費率 (%)	運 転 1 時 間 当 り		供 用 1 日 当 り		運 転 1 時 間 当 り 換 算 値		備 考
				C 運 転 時 間 (Hr)	D 運 転 日 数 (日)	E 供 用 日 数 (日)			H 損 料 率 $\times 10^{-6}$	I 損 料 (円/Hr)	J 損 料 率 $\times 10^{-6}$	K 損 料 (円/日)	L 損 料 率 $\times 10^{-6}$	M 損 料 (円/Hr)	
推 進 機 本 体	推進装置	推力392kN、 4,900Nm													
	油圧 ユニット	24kW (エンジン式)													
	コントロール ユニット	レーザー測量用 画面表示													
	ベース 先導体	φ200 ~ φ300 用													
	治工具														
	ユニット 間ホース& ケーブル他														
計	塩ビ管半管用	24,080	6	540	80	120	60	10					648	15,604	1 日は、 損料(M) × 6.75Hr
	塩ビ管標準管用	25,080												16,252	
	ビニル管半管用	24,080	8	540	80	120	70	10					556	13,388	
	ビニル管標準管用	25,080												13,944	

$$M = A \times L \quad L = \left[ \frac{0.9 + F}{B} + G \right] \div C$$



※基礎価格は参考価格です。

7-2. 器具損料

(通常地域用)

名称	諸元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損料率 $D=0.9 \times C$ $/B(\times 10^{-6})$	E 損料 $E=A \times D$ (円/m)	備考
先 導 体	φ200 塩ビ管	800	950	1.15	1,089	871	シールド & ケース
	φ250 塩ビ管	1,200	950	1.15	1,089	1,307	
	φ300 塩ビ管	1,500	950	1.15	1,089	1,634	
	φ200 ヒューム管	1,500	950	1.15	1,089	1,634	
2m管用標準 ケーシング & スクリュ	φ200, 250, 300 (塩ビ管)	320	1,320	1.15	784	251	普通土に適用 〔円/m・本〕
		320	990	1.15	1,045	334	硬質土、滞水砂層 に適用 〔円/m・本〕
	φ200 (ヒューム管)	320	880	1.15	1,176	376	礫、玉石 [A] に適用 〔円/m・本〕
		320	660	1.15	1,568	502	礫、玉石 [B] [C] に適用 〔円/m・本〕
1m管用標準 ケーシング & スクリュ	φ200, 250, 300 (塩ビ管)	160	1,320	1.15	784	125	普通土に適用 〔円/m・本〕
		160	990	1.15	1,045	167	硬質土、滞水砂層 に適用 〔円/m・本〕
	φ200 (ヒューム管)	160	880	1.15	1,176	188	礫、玉石 [A] に適用 〔円/m・本〕
		160	660	1.15	1,568	251	礫、玉石 [B] [C] に適用 〔円/m・本〕
ピンチ弁	φ200, 250, 300 (塩ビ管)	150	250	1.15	4,140	621	普通土・硬質土・ 滞水砂層に適用
		150	100	1.15	10,350	1,553	礫、玉石 [A] に適用
	φ200 (ヒューム管)	150	80	1.15	12,938	1,941	礫、玉石 [B] [C] に適用
カッタヘッド (普通土、硬質土)	φ200 塩ビ管	600	350	1.15	2,957	1,774	普通土、硬質土 に適用
	φ250 塩ビ管	720	350	1.15	2,957	2,129	
	φ300 塩ビ管	800	350	1.15	2,957	2,366	
	φ200 ヒューム管	800	350	1.15	2,957	2,366	
カッタヘッド (滞水層)	φ200 塩ビ管	600	250	1.15	4,140	2,484	滞水砂層に適用
	φ250 塩ビ管	720	250	1.15	4,140	2,981	
	φ300 塩ビ管	800	250	1.15	4,140	3,312	
	φ200 ヒューム管	800	250	1.15	4,140	3,312	
カッタヘッド (ディスクカッタ型)	φ200 塩ビ管	1,000	140	1.15	7,393	7,393	礫、玉石 [A] に適用
	φ250 塩ビ管	1,200	140	1.15	7,393	8,872	
	φ300 塩ビ管	1,600	140	1.15	7,393	11,829	
	φ200 ヒューム管	1,600	140	1.15	7,393	11,829	
カッタヘッド (ディスクカッタ型)	φ200 塩ビ管	1,000	120	1.15	8,625	8,625	礫、玉石 [B] [C] に適用
	φ250 塩ビ管	1,200	120	1.15	8,625	10,350	
	φ300 塩ビ管	1,600	120	1.15	8,625	13,800	
	φ200 ヒューム管	1,600	120	1.15	8,625	13,800	
油圧ホース×1本 電気ケーブル×1本 エアホース×1本	4m	78	460	1.00	1,957	152	〔円/m・組〕
滑材ホース×1本	4m	22	460	1.00	1,957	43	〔円/m・本〕

【備考】 1. 2m管推進時は、2m管用のケーシング&スクリュの損料を計上します。  
2. 1m管推進時は、1m管用のケーシング&スクリュの損料を計上します。

## 8. TP50S機械損料・器具損料

※基礎価格は参考価格です。

8-1. 推進用機械損料

[通常地域用]

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用 年数 (年)	年 間 標 準			F 維持 修理 費率 (%)	G 年間 管理 費率 (%)	運転1時間当り		供用1日当り		運転1時間当り 換 算 値		備 考
				C	D	E			H	I	J	K	L	M	
				運 転 時 間 (Hr)	運 転 日 数 (日)	供 用 日 数 (日)			損 料 率  ×10 <sup>-6</sup>	損 料  (円/Hr)	損 料 率  ×10 <sup>-6</sup>	損 料  (円/日)	損 料 率  ×10 <sup>-6</sup>	損 料  (円/Hr)	
推 進 機 本 体	推 進 装 置														
	油圧ユニット														
	コントロール ユニット	レーザ <sup>®</sup> 測量用 液晶画面													
	ペース 先導体														
	治 工 具														
	ユニット間 ホース& ケーブル他														
計	塩ビ <sup>®</sup> φ200～ 250 半管用	25,963	6	540	80	120	60	10					648	16,824	1日は、 損料(M) × 6.75Hr
	塩ビ <sup>®</sup> φ300～ 400 半管用	27,153												17,595	
	塩ビ <sup>®</sup> φ200～ 250 標準管用	27,063												17,537	
	塩ビ <sup>®</sup> φ300～ 400 標準管用	28,253												18,308	
	ビニル管半管用	27,153	8	540	80	120	70	10					556	15,097	
	ビニル管 標準管用	28,253												15,709	

$$M = A \times L \quad L = \left[ \frac{0.9 + F}{B} + G \right] \div C$$

※基礎価格は参考価格です。

8-2. 器具損料

〔通常地域用〕

名 称	諸 元	A 基礎価格 (千円)	B 耐用距離 (m)	C 補正率 (-)	D 損 料 率 $D=0.9 \times \frac{C}{B} (\times 10^{-6})$	E 損 料 $E=A \times D$ (円/m)	備 考
先 導 体	φ200 塩ビ管	870	950	1.15	1,089	947	シールド & ケース
	φ250 塩ビ管	1,070	950	1.15	1,089	1,165	
	φ300 塩ビ管	985	950	1.15	1,089	1,073	
	φ350 塩ビ管	2,595	950	1.15	1,089	2,826	
	φ400 塩ビ管	2,920	950	1.15	1,089	3,180	
	φ200 ヒュム管	985	950	1.15	1,089	1,073	
	φ250 ヒュム管	2,595	950	1.15	1,089	2,826	
	φ300 ヒュム管	2,920	950	1.15	1,089	3,180	
ケーシング & スクリュー	2m 標準管	216	880	1.15	1,176	254	塩ビ管に適用 〔円/ｍ・本〕
		208	880	1.15	1,176	245	ヒュム管に適用 〔円/ｍ・本〕
	1m 標準管	166	880	1.15	1,176	195	塩ビ管に適用 〔円/ｍ・本〕
		158	880	1.15	1,176	186	ヒュム管に適用 〔円/ｍ・本〕
ピンチ弁		150	250	1.15	4,140	621	普通土・硬質 土・滞水砂層 に適用
カッタヘッド (砂用)	φ200 塩ビ管	380	950	1.15	1,089	414	普通土・ 滞水砂層 に適用
	φ250 塩ビ管	450	950	1.15	1,089	490	
	φ300 塩ビ管	570	950	1.15	1,089	621	
	φ350 塩ビ管	680	950	1.15	1,089	741	
	φ400 塩ビ管	680	950	1.15	1,089	741	
	φ200 ヒュム管	570	950	1.15	1,089	621	
	φ250 ヒュム管	680	950	1.15	1,089	741	
	φ300 ヒュム管	680	950	1.15	1,089	741	
カッタヘッド (土丹用)	φ200 塩ビ管	528	880	1.15	1,176	621	硬質土に 適用
	φ250 塩ビ管	600	880	1.15	1,176	706	
	φ300 塩ビ管	630	880	1.15	1,176	741	
	φ350 塩ビ管	690	880	1.15	1,176	811	
	φ400 塩ビ管	690	880	1.15	1,176	811	
	φ200 ヒュム管	630	880	1.15	1,176	741	
	φ250 ヒュム管	690	880	1.15	1,176	811	
	φ300 ヒュム管	690	880	1.15	1,176	811	
油圧ホース×1本 電気ケーブル×1本 エアホース×1本	4 m	78	460	1.00	1,957	152	〔円/ｍ・組〕
滑材ホース×1本	4 m	22	460	1.00	1,957	43	〔円/ｍ・本〕

## 9. 止水器 価格表

※価格は参考価格です。

9-1. TP125S坑口止水器価格表（発進・到達）

鋼矢板・ライナープレートの場合	
呼び径	価 格 (円)
φ 800	265,000
φ 900	280,000
φ 1,000	318,000

9-2. TP95S・TP75SCL・TP90S坑口止水器価格表（発進・到達）

鋼矢板・ライナープレートの場合	
呼び径	価 格 (円)
φ 250	66,000
φ 300	73,000
φ 350	80,000
φ 400	89,000
φ 450	96,000
φ 500	102,000
φ 600	135,000
φ 700	158,000

※止水器価格は、箱型も円弧型も同じとします。

9-3. TP80坑口止水器価格表（発進・到達）

呼び径	鋼矢板の場合	ライナープレートの場合
	価 格 (円)	
φ 250	77,000	71,000
φ 300	86,000	80,000
φ 350	95,000	89,000
φ 400	106,000	99,000
φ 450	114,000	110,000
φ 500	123,000	119,000
φ 600	179,000	169,000
φ 700	207,000	197,000

9-4. TP60S・TP40SCL・TP50S坑口止水器価格表（発進・到達）

鋼矢板・ライナープレート・小型立坑の場合		
呼び径	価 格 (円)	
	塩ビ管用	ヒューム管用
φ 200	41,000	51,000
φ 250	46,000	56,000
φ 300	51,000	62,000
φ 350	56,000	—
φ 400	62,000	—

※止水器価格は、箱型も円弧型も同じとします。

**10. 掘削添加材、滑材、濁水処理装置、  
グラウトポンプ・ミキサ他価格**

### 10-1. 推進用掘削添加材・高性能滑材

品名	規格・仕様	参考使用量	単位	標準価格 (円)
スムーサ KM-5	泥土圧工法用掘削添加材	0.5~2.5kg /200L	kg	2,850
スムーサ KM-E	泥土圧工法用掘削添加材	0.5~2.5kg /200L	kg	2,000
グラベルコート	掘削添加材(滞水・無水砂礫用)	1.0~3.0kg /200L	kg	3,000
海塩耐	耐塩性掘削添加材	5.0kg /200L	kg	2,000
ノンスティック KD-3	粘着土付着防止材	0.2~0.6kg /200L	kg	1,600
トケール KH-1	粘着土崩壊材	0.2~0.6kg /200L	kg	1,750
パイプコート	推進工法用高性能滑材	2.5kg /200L	L	30.0
パイプコート II	推進工法用高性能滑材	1.0kg /200L	L	15.0
グラベルパイプコート	推進工法用高性能滑材(砂礫質土用)	1.0kg /200L	L	17.5
コボルパイプコート	推進工法用高性能滑材(巨礫質土用)	2.5kg /200L	L	27.5
耐塩パイプコート	推進工法用高性能滑材(耐塩用)	2.5kg /200L	L	34.4
クレイパイプコート	推進工法用高性能滑材(粘土・シルト用)	0.3kg /200L	L	6.0
ストッパW	滑材・添加材の逸散防止用助材	1.0~4.0kg /200L	kg	500

【注意1】 使用量は参考値で、土質条件等により変わります。

【注意2】 滑材の標準価格は、練り上り1L当りの価格です。

### 10-2. 凝集材・土壌改良材

品名	規格・仕様	濁水SS成分濃度 (mg/L)	単位	標準価格 (円)
スーパーグレートパウダー-No.2 E型	KT-2用特殊凝集材	50~20,000	kg	840
スーパーグレートパウダー-No.2 F型	KT-2用特殊凝集材	50~2,000	kg	910
エコマックス TW-20W	KT-2用特殊凝集材	50~25,000	L	980
エコマックス TW-20WA	KT-2用特殊凝集材	50~25,000	L	980
エコマックス TW-20C	KT-2用特殊凝集材	50~25,000	kg	980
ハイパーフロック N型	KT-2用特殊凝集材	100~200,000	kg	2,400
シンデレライトS リトナ	KT-2用特殊凝集材	300~20,000	kg	1,200
ハーデン	土壌改良材(中性)	8袋(500kg/袋) (4トン車使用)	kg	20
ハード P	汚泥固化材(アルカリ性)	20kg/袋	kg	51

【注】 運送費は含まれておりません。



### 10-3. 濁水処理装置

(円)

品名	規格・仕様	単位	標準価格
サークリーン KT-5	濁水処理能力 3.0～6.0m <sup>3</sup> /H	台	11,000,000
サークリーン KT-12	濁水処理能力 6.0～12.0m <sup>3</sup> /H	台	5,000,000
サークリーン KT2A	濁水処理能力 2.5～6.0m <sup>3</sup> /H (適用濁水濃度：500～20,000ppm)	台	3,000,000
サークリーン KT2A0		台	3,500,000
サークリーン KT2B0		台	3,500,000
サークリーン KT2AS		台	4,800,000
サークリーン KT2BS		台	4,800,000
加圧脱水機 TDP-01		脱水能力 0.1m <sup>3</sup> /H	台

品目	仕様	数量	A 基礎 価格 (円)	B 耐用 年数 (年)	E 年間 標準 供用 日数 (日)	F 維持 修理 費率	G 年間 管理 費率 (-/年)	K 供用 1日当 損料 (円/日)	備考
濁水処理装置	KT2A0	1	3,500,000	7	170	0.6	0.05	5,441	汚泥引抜き ポンプ装着
吸入用ホース	2" × 20m	1	85,000	1	170	0	0.05	475	
清水用ホース	4" × 15m	1	115,000	1	170	0	0.05	643	

沈殿槽	3m <sup>3</sup>	1	300,000	7	130	0.3	0.05	511	
-----	-----------------	---	---------	---	-----	-----	------	-----	--

### 10-4. グラウトポンプ・ミキサ 他

(円)

品名	規格・仕様	単位	標準価格
マルチエハ <sup>®</sup> TKP1-50M2W	モーターポンプ×2 吐出量 300/min、200/min (攪拌タンク容量 2500×2槽)	台	4,150,000
マルチエハ <sup>®</sup> TKP1-45M4	モーターポンプ×1 吐出量 450/min (攪拌タンク容量 2500×2槽)	台	4,150,000
クリーンダンパ	最大風量 28m <sup>3</sup> /min、4tシャージ 回収タンク総容積 3,000L	台	16,560,000

コマツ

〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6

TEL 03-5561-2713

FAX 03-5561-2905